

全能者の陰に宿る

2021年6月13日

詩篇 91篇

序：第4巻の始まり

90篇……人間の卑小さ、人生のはかなさ、厳粛さ (すべての人間の現実)

神の怒り ⇒ さばきとしての死

労苦ばかりでなく喜びをも!

正しく日数を数えることを、教えてください

私たちの手のわざを確かなものとしてください

91篇……全能の神の守り、顧みの磐石さ、万全 (すべての聖徒の現実)

神の慈愛 ⇒ 全能の力による保護

ダビデ・マーチン師の毎日の愛唱の詩篇 (この2篇はセット)

90篇は葬儀時

91篇14～16節は、キリスト信者の病氣見舞い

コロナ禍の中、与えられた主の約束、主は真実、実行されてきた

I. 神の守りへの信頼 1～13節

(1)神 = いと高き方 (在天・聖・創造主)
全能者

(2)私と神 = 私の避け所 (隠れ場、陰)
私の砦
私が信頼する私の神 汝と我の親密さ
心で思うだけではなく、口に出して告白する

(3)何から守り救ってくださるのか
狩人の畏から (鳥や動物)
破滅をもたらす疫病から (暗闇に忍び寄り) ……密かな武器
夜襲の恐怖 昼間の戦いで飛び交う矢から ……見える攻撃

(4)どのように守ってくださるのか
①母鳥が雛を自分の羽でおおうように
呼びかける声、暖かく安全な翼の下、ふところに憩わせる

②御使いを遣わして (案内人)
出 23・20 ヘブル 1・14
あなたのために
あなたのすべての道で
あなたを守られる
cf. 荒野でイエスを試みた悪魔 マタイ4・5～7

(5)その時、私はどうなる (する) のか
①恐れぬ (熾烈な戦い、危険にさらされていても)
∴ 災いはふりかからず、疫病が生活の現場に近づかない
家庭・宿営

②主に背く者、私の敵の末路を見届ける

③さまざまな敵に対し、圧倒的勝利
獅子、コブラ、若獅子、蛇

∴勝敗は人数の多さや軍備によっては決まらない
主の真実 (=大盾、砦 = 防備)
主 (わが避け所、いと高き方) を究極の拠とした

II. 神から聖徒への確約

- (1)彼がわたしを愛しているから わたしは彼を助け出す
わが避け所、砦、盾と信頼したこと
ケシ粒ほどの信仰に対する億倍返し
- (2)彼がわたしの名を知っているから わたしは彼を高く上げる
神のご性質・御業のほんの一部しか知らない
分不相応、破格の対応・報奨
辞退せず、感謝して受ける
- (3)彼がわたしを呼び求めれば わたしは彼に応える
天の父を頼って、地上の子どもが祈り求めるのを待って、聞いてくださる
- (4)彼の苦しみのときに わたしは彼と共にいて、彼を救い、栄誉を
苦境、窮地の時の真の友 与える
名誉を回復し、さらに誉れを増し加えられる
- (5)わたしは彼をとこしえのいのちで満ち足らせ、わたしの救いを彼に見せる
神を信じないまま、地上で終わるいのちは、永遠の滅びに直結
しかし、神は聖霊をもって、永遠のいのちを保証
地上から天に続く、神の栄光のために仕える喜びと安心
神の完き救いを実際に彼に体験させよう

III. 結び

肉体の死は信者にも不信者にもある
しかし、神の対応は全く逆 / この地上でも、永遠においても
神を信じ、神を告白し、卑小な自分が偉大な神を礼拝する
神を信じている者には、神を愛することが求められる
神を信じ、愛する者は、親しく厳かに神を知る者となり、その交わりの親密さは
増大・深化していく
疫病により、恐怖にとらわれ、人間関係が希薄、破壊され、情報操作による混乱、
疑念、謀略が取り巻き、浸透している。すでに有事、目に見えない戦争中。
千人万人が倒れる中、守ってくださるのは、ほかでもない、全能者である神のみ

天の神と私たちの打てば響くような交わりが、聖く、力強く続きますように。
神の声を聞き分ける耳と、神の御業を見る目と、祈りのために挙げる手と、賛美の
口と、喜んで仕える全身を主にささげる者は、主に申し上げるだろう。 2 節